

「第3次生駒市環境基本計画策定」市民ワークショップ実施報告

- 日 時：平成30年1月～5月の土日祝日のいずれか、毎月1回3時間程度、計5回実施済み
 ※平成29年11月に今回のワークショップについてのキックオフセミナーを開催し
 参加者募集を行なった。
 ※平成31年1月に第6回を開催予定
- 場 所：生駒市役所 4階 大会議室など
- 参加者構成：公募市民8名、団体12名、事業者2名、学生1名、教育関係者2名、行政2名
 +事務局関係者
- 目 的：これまで生駒市の環境基本計画の基盤となってきたとも言える「市民、事業者、行政など
 パートナシップによる計画づくりと推進」の考え方を継承し、協働による計画策定と実
 現を促進するために開催した。

＜環境基本計画への反映＞

生駒市の持続可能な地域づくりに向けた、目指すべき環境像、戦略について多様な主体でどのような取り組みを行えば良いかについてアイデアを出し提案としてまとめた。これらの意見や提案は環境基本計画に示す、望ましい環境像や各目標、重点的な取り組み等について検討する際の参考とする。



第5回市民ワークショップ参加者 記念写真（平成30年5月12日）

○内 容：

	実施日	目的	勉強会等	ワークショップのテーマ
キックオフ セミナー 参加者 約 30 名	平成 29 年 11 月 26 日 (日) 10:00～	・趣旨説明 ・参加者募集	・持続可能な地域づくりの カギとなる資金循環のしく み (深尾昌峰氏・龍谷大学)	—
第 1 回 参加者 32 名	平成 30 年 1 月 28 日 (日) 9:00～	・自己紹介 ・生駒市の環境 の概要を知る	・生駒市の人口構成につい て ・環境基本計画とは ・生駒市の環境の基礎 ・市民アンケート調査結果	・自己紹介 ・生駒の環境をふりかえる (良いところ、課題)
第 2 回 参加者 36 名	平成 30 年 2 月 12 日 (月・祝) 9:00～	・魅力あるまち を考える	・生駒市総合計画について (政策企画推進課) ・生駒市のシティプロモー ション (いこまの魅力創造 課)	・まちの将来像 ・これからの生駒で大切に したいことと、実現に向け て
第 3 回 参加者 32 名	平成 30 年 3 月 11 日 (日) 9:00～	・市民の取り組 みを知る ・生駒の環境を より良くする	・生駒市における市民の取 り組み (団体及び個人の計 8 人より紹介)	・生駒の環境をより良くす るための提案 (自然環境、 生活環境、地球環境、その 他)
第 4 回 参加者 36 名	平成 30 年 4 月 8 日 (日) 9:00～	・持続可能な地 域づくりに向 けた戦略 1	・持続可能な地域づくりを 巡る動向 (畑中直樹・(株) 地域計画建築研究所) ・社会的投資を活用した持 続可能な地域社会づくり (野池雅人・プラスソーシ ヤルインベストメント株式 会社)	・戦略として深めるテーマ について (自然環境、生活 環境、地球環境、コミュニ ティ)
第 5 回 参加者 36 名	平成 30 年 5 月 12 日 (土) 14:00～	・持続可能な地 域づくりに向 けた戦略 2	・発表内容について、環境 審議会の中西会長及び小紫 市長よりコメント	・前回決定したテーマにつ いて班ごとに持続可能な 地域づくりに向けた戦略 を提案としてまとめ・発表

※平成 31 年 1 月に第 6 回を開催予定 (テーマ：素案の共有)

第3次生駒市環境基本計画策定 第1回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成30年1月28日(日) 9:00～12:00
- 開催場所：生駒市役所 4階 大会議室
- 参加者数：32名(内、事務局関係者8名)
- 内容 1. 開会、あいさつ(趣旨説明)
2. オリエンテーション(環境基本計画とは、生駒市の環境の基礎、市民アンケート結果)
3. ワークショップ(自己紹介、生駒の環境をふりかえる～生駒の環境の良いところ・課題)

1. 開会、あいさつ

- ・主催者である、生駒市(地域活力創生部長)より、今後の生駒市の人口構成について説明があり、生駒市の少子高齢化が全国より早いスピードで進んでいること、生駒のまちを持続可能に維持していくためには参画と協働が大切であることの確認を行いました。

2. オリエンテーション

●環境基本計画とは

- ・事務局より、環境基本計画の位置付け、他の計画との関係、国・県の環境基本計画、環境基本計画に関する近年のトピックスについて説明を行いました。

●生駒市の環境の基礎

- ・環境モデル都市推進課より、生駒市の環境の現状及びこれまでどんな取組をしてきているのか、について、自然環境、生活環境、地球環境の面から紹介しました。

●市民アンケート調査結果

- ・事務局より、市民アンケート調査結果概要について説明を行いました。

3. ワークショップ

- ・事務局より、今回のワークショップの進め方とワークグループの心得について説明を行いました。
- ・5班に分かれて自己紹介形式で「どんなことを提案したいか」「生駒市でおすすめしたい場所」を班で出し合った後、「生駒の環境について思うこと～生駒の環境をふりかえる」をテーマに「良いところ」、「良くないところ」について意見や提案を出し合い、全体で共有しました。

●結果概要

- ・生駒の環境で「良いところ」：もったいない精神が継承されていること、自然が多い、空気がきれい、活動団体が多く・熱心な市民がいる、市民力が高いなどが挙げられ、子どもたちや地域外(全国)に生駒の魅力を、口コミやSNS、自ら積極的に参加することなどを通じて伝えたいなどの提案がありました。
- ・生駒の環境で「良くないところ」：空き家対策、古くなった住宅が多い、坂道が多く、車利用が多いなどが挙げられ、今後は、伝え方に楽しい・お得などの環境以外の視点で、固くなく市民の心をつかむ工夫をするなど提案がありました。



第3次生駒市環境基本計画策定 第2回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成30年2月12日(月・祝) 9:00～12:00
- 開催場所：生駒市役所 4階 大会議室
- 参加者数：36名(内、事務局関係者9名)
- 内容 1. オリエンテーション(生駒市総合計画について、生駒市のシティプロモーション)
2. ワークショップ(前回のふりかえり、まちの将来像について)

1. オリエンテーション

●生駒市総合計画について

- ・政策企画推進課より、生駒市の概要(市政施行、人口、人口の推移、産業)、総合計画に基づくまちづくり(総合計画とは、第5次総合計画の構成、第5次総合計画の期間、基本構想、基本理念、都市将来像、まちづくりの目標、基本計画)、第6次総合計画の予定について説明を行いました。

●生駒市のシティプロモーション

- ・いこまの魅力創造課より、ファンづくりで地域をつくと題して、生駒の魅力、住宅都市としてまちの活力を維持するためのシティプロモーション、まちの活力の維持、まちを愛しまちのために活動する人を増やすための戦略的なアプローチ(いこまち宣伝部、IKOMA SUN FESTA、ライフスタイルブックの発行、動画の制作)など共感と楽しさで、住み続ける価値のあるまちを参加型でつくる取り組みについて紹介しました。

2. ワークショップ

- ・事務局より、前回のふりかえりと今回のワークショップの進め方について説明を行いました。
- ・5班に分かれて自己紹介の後、「まちの将来像について～魅力のあるまちはどんなまち」をテーマに「私が考える、未来の生駒のまちの姿」について意見や提案を出し合い、その後、班で「まちの将来像」、「これからの生駒で大切にしたいこと」、「そのためにしなければいけないこと」について話し合いました。

●結果概要

まちの将来像として、以下のキーワードが出されました。

- ・環境・観光・健康・教育・技術（5K）を目指す ・ゆるくつながる ・オール生駒、多世代交流
- ・多世代・安心安全・楽しく・健康・環境 ・環境配慮と都市活動のバランスのとれたまち
- ・自然と調和したまち ・みんなが誇りを持ってイキイキと活動するまち
- ・多世代が楽しく、健康で住み良いまち ・健康寿命日本一のまち、生駒
- ・地域特性を活かしたまち

これからの生駒で大切にしたいこととしては、次のようなキーワードが挙がりました。

- ・それぞれ別で活動→ゆるくフェアにつながる ・再エネ率 100%のまち
- ・高齢者・若者・子ども・つながり
- ・より多くの方がまちと関わり、まちのために動くことが普通なまち
- ・市民、地域の取り組みで全国をリードするまち ・超高齢社会に対応した前進的施策の推進
- ・楽しさ、やりがい、お得感

上記を実現するためにしなければいけないこととしては、次のような提案がありました。

- ・ワクワクできるものを発信する！参加する勇気を持つ ・チャレンジ!! 場づくり
- ・クラブの設立 ・PTA 活動→地域活動に持続する ・家庭から広がる環境都市（エコ活動）
- ・地域でサークルづくり ・世代を超えて参加できる場
- ・活動に参加するための移動手手段確保 など



第3次生駒市環境基本計画策定 第3回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成30年3月11日(日) 9:00～12:20
- 開催場所：生駒市 コミュニティセンター 4階 402～404 会議室
- 参加者数：32名(内、事務局関係者9名)
- 内容 1. オリエンテーション(生駒市における市民の取り組み)
2. ワークショップ(前回のふりかえり、生駒の環境をより良くするための私の提案)

1. オリエンテーション

●生駒市における市民の取り組み

- ・今回のワークショップに参加頂いている団体・個人より、日頃の生駒市で取り組んでおられる活動について紹介いただきました。紹介いただいた内容は以下の通りです。

■生駒市における市民の取り組み発表者一覧

	タイトル	団体名等
1	豊かな自然と歴史と未来が融合したまち いこま～幅広い環境活動をする ECO-net 生駒～	生駒市環境基本計画推進会議 (ECO-net 生駒)
2	プラレールひろばでつながるひろがる	いこま育児ネット
3	カワバタモロコ保護活動	生駒市カワバタモロコ保護活動ボランティア
4	CODE for IKOMA の紹介	CODE for IKOMA
5	市民共同発電所事業による再生可能エネルギー普及促進と収益の地域還元	一般社団法人 市民エネルギー生駒
6	私の愛する生駒の自然への関わり	個人
7	いこまち宣伝部の紹介 生駒市公式 Facebook ページ「まんてんいこま」、フォトブック「いこまの愛しい時間」	いこまち宣伝部
8	生駒市役所と大学生による環境出前授業	個人

2. ワークショップ

- ・事務局より、前回のふりかえりと今回のワークショップの進め方について説明を行いました。
- ・5班に分かれて自己紹介の後、「生駒の環境をより良くするための私の提案」を「自然環境」「生活環境」「地球環境」「その他」の分野について意見や提案を出し合い、各班で取りまとめ発表の後、次回のワークショップに向けて自分の興味のあるテーマの班に分かれて、「発表を聞いて良いと思った考え、印象的だった点」について話し合いました。

●結果概要

生駒の環境をより良くするために、主に次のような提案がありました。

○「自然環境」に関わること

- ・多世代交流や遊休農地活用における IT を利用したマッチング
- ・緑を大切に手入れし、バイオコークスなどへの活用
- ・共有地の美化運動のバックアップ ・自然の中の教室 ・水質の向上
- ・環境博士や楽しみながら森カフェや調理を実施し次世代へつなぐ ・生き物とふれあう
- ・自然をよく知る（遊び場は学びの場、周りを見つめる、生き物とのふれあい）

○「生活環境」に関わること

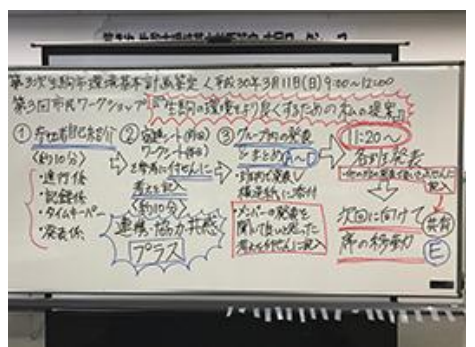
- ・空き家活用（空き家を活用した世代間交流、マッチング、IT、サロンなど）
- ・バス・自転車の活用 ・レンタサイクルの実施 ・コミュニティバス
- ・食品ロス削減（アプリで消費者をつなぐ、賞味期限の近い食品買う） ・ごみ処理施設見学
- ・ごみを減らす（堆肥化、分別の徹底、何でももったいない市（子ども服、食器、空き家）の開催）
- ・小さいエリア活動でのまち歩きによる公共交通利用促進 ・下水道整備

○「地球環境」に関わること

- ・エネルギーの地産地消（太陽光有効利用、太陽熱の活用）
- ・省エネ・再エネ（出前講座の実施、学校で家庭での省エネの取り組みについてチェック→学校を通して子どもから大人へ取り組みを広げる）
- ・CO2 を減らす（見える化アプリ、ゲーム感覚で家庭ごとに取り組みを競う）
- ・移動手段の低炭素化（公共交通マップ、電気自動運転車、シェアリング、マイカー利用を控える、乗り合いタクシー、電動自転車シェアリング、パーソナルモビリティ）→不便を楽しむ
- ・電気自動運転車の早期導入実験と実用化
- ・省エネ改修の推進（高断熱住宅・高気密住宅）→いこま市民パワーの利益活用

○その他

- ・楽しく環境意識の向上（親子、多世代、人材バンク、多様な場、エコキッズクラブ、ポイント制）
- ・世代間、異なった立場の人達の交流増進（場の環境整備）
- ・IT を使った情報提供&PR&マッチング
- ・運動や健康寿命と連携した取り組み、楽しいイベントで市民活動を生き活きと
- ・分野横断、人が集う力、デザイン力、IT の活用、世代を超えたマッチング（つなげる）の強化
- ・ポイント制にいこま市民パワーの収益活用 など



第3次生駒市環境基本計画策定 第4回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成30年4月8日(日) 9:00～12:00
- 開催場所：生駒市役所 4階 大会議室
- 参加者数：36名(内、事務局関係者11名、オブザーバー1名)
- 内容 1. オリエンテーション(持続可能な地域づくりを巡る動向、社会的投資を活用した持続可能な地域社会づくり)
2. ワークショップ(前回のふりかえり、持続可能な地域づくりに向けた戦略(その1))

1. オリエンテーション

●持続可能な地域づくりを巡る動向

・(株)地域計画建築研究所(アルパック)大阪事務所 役員 大阪事務所副所長 畑中直樹氏より、持続可能な地域づくりを巡る動向と題して、持続可能な地域づくりの世界的背景(気候変動、SDGs)、持続可能な地域づくりと地域内循環(持続可能な地域づくりとは、地域内循環)、持続可能な地域づくりに向けて生駒市で取り組む視点(ものの循環、人の循環)について講義いただきました。



●社会的投資を活用した持続可能な地域社会づくり

・プラスソーシャルインベストメント株式会社 代表取締役 野池雅人氏より、社会的投資を活用した持続可能な地域社会づくりと題して、長期的な人口の推移と将来推計、社会的投資、SIBの仕組みと各主体の関わり、SIBの事例紹介と関わった人の声、ローカルファイナンスの再構築について講義いただきました。



イラスト：吉田友子
(STUDIOPOKO)

2. ワークショップ

- ・事務局より、前回のふりかえりと今回のワークショップの進め方について説明を行いました。
- ・「自然環境」「生活環境」「地球環境」「コミュニティ」の4班に分かれて自己紹介の後、「持続可能な地域づくりに向けた戦略」として、「班で戦略として深めるテーマと内容」について意見や提案を出し合いました。最後に各班から、本日の話し合いの結果について中間発表がありました。

●結果概要

持続可能な地域づくりに向けた戦略づくりとして、各班で深めるテーマと内容について、次のような中間発表がありました。

○自然環境班

- ①戦略として深めるテーマと内容：市民で創る 生駒の自然
- ②議論の経過 テーマ：いこまの自然に親しむ
内 容：・親しむ、知る、意識を高める、保全、活動、有効利用

- ・愛着 シビックプライド（ほこり）、次世代へ伝える
- ・地域の人々と市民全体、来訪者→エコツーリズム
- ・自然を知り、守り、自然の有効活用

○生活環境班

<提案1>

①戦略として深めるテーマと内容：ITを活用した食品ロス削減

②議論の経過 テーマ：ごみ

内 容：・食品ロス、手段 IT（アプリ活用による食品ロス削減）

方向性：・おばちゃん・主婦感覚（ゆるい、お得感）、SDGs

<提案2>

①戦略として深めるテーマと内容：地域を巻き込んだ移動サポート

②議論の経過 テーマ：移動手段、移動サポート

内 容：・自動車（電気） バス、暮らしのゆとり、人、地域

・手段→IT アプリ、問題→ガラケー、

・対象→移動が困難な人、医療、商業施設

○地球環境班

①戦略として深めるテーマと内容：・エネルギーの地産地消と低炭素化

・RE100（将来）、既存住宅の高効率化、低炭素の交通

②議論の経過 テーマ：エネルギーの地産地消、再生エネルギーの推進、住宅の低炭素化、移動手段の低炭素化、普及啓発 情報提供

内 容：・ICP コミュニティサービスとの連携により環境市民の増大

・環境エネルギーを切り口としたまちづくり

・シェアリングエコノミー

・住宅の低炭素化（住宅の断熱）

・エネルギーの地産地消という考え方に興味

・移動手段（電動自転車の普及、電気自動車の普及）

・いこま市民パワーとの連携

○コミュニティ班

①戦略として深めるテーマ：伝える啓発

②戦略として深める内容：①環境のメリットとお得感

・隠れたキャリアの活用（セカンドキャリア、主婦など）

・子供から親へ

②場作り

・空き家と空き店舗 地域のコミュニティ場づくりに活用

・ハードルを低く気軽に→生の情報を得られる 身近なこと

・地域を持続可能にする 拠点

③議論の経過 テーマ：伝える・啓発、世代間交流、コミュニティの場づくり

- 内 容：
- ・伝えること：環境→効果、メリット、お得感
 - ・伝え方：広報だけでない方法 スマホ 子どもから親へ
 - ・誰が伝える：セカンドキャリア、専業主婦、隠れた人材、積極的な人
→活躍できる場づくり
 - ・各班で出たテーマを実現していく
 - ・直接話す場+間接インターネット
 - ・メリット 不要なもの→他の人にゆずる
 - ・ゆるくつながる交流の場 色々あっていい！

■オブザーバー吉田友子さんによる中間発表のグラフィックレコーディング



イラスト：吉田友子 (STUDIOPOKO)